Yokohama　Rosai　Hospital

横浜労災病院　広報誌

労災だより

２０２１－Jan

Ｎｏ．22

新年あけましておめでとうございます。

近隣の医療機関の先生方とも一丸になって、このコロナ禍を乗り越えていきたいと考えております。

病院長　梅村　　敏

新年あけましておめでとうございます。

２０２０年は、世界中で新型コロナウイルスへの対応に始まり、現在に至ってもそれが継続していることはご承知のことと存じます。当院でも、ダイアモンド・プリンセス号からの患者対応に始まり、院内クラスターへの対応、そして、第３波と言われている現在まで、引き続き、緊張感を持って感染予防対策（感染防止対策）に取り組んできたところです。

こうした厳しい状況の中、港北区をはじめとした近隣医療機関の皆様のご協力もあって横浜市北東部地域の地域中核病院としての責務を果たせてきたことに改めて感謝申し上げます。昨年、院内で新たに始めた取り組みとして、一部の診療科ではありますが「ＡＩを用いた問診システム」の導入、診察待ち患者に対するＬＩＮＥを使った「呼出通知サービス」の導入、「Ｍ３.com」を用いての診療科機能の情報発信、入院される患者さんの各種手続きをワンストップで行えるよう機能集約した「患者サポートセンター」の開設などを行ってきました。今後も、病院ホームページからのＷｅｂ予約の導入や診療申込書や問診票をダウンロードできるようなシステムの導入など、さらなるアイデアも検討されています。

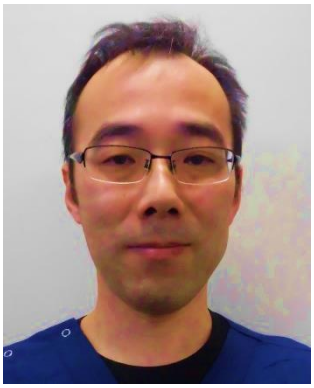
さて、２０２１年は、一日でも早いコロナ禍の終息が期待されますが、延期されました東京オリンピック・パラリンピックも開催予定です。横浜市でもサッカー（横浜国際総合競技場）・野球（横浜スタジアム）が開催され、当院も医療救護に係るサポートをすることになっております。開催期間中は近隣医療機関の皆様にもご協力頂くこともあるかと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

最後に、横浜労災病院の理念「みんなで、やさしい、明るい医療」すなわち「チーム医療で、患者さん第一に活動し、病院に働くスタッフも満足の得られる医療」を着実に実践し、近隣の医療機関の先生方とも一丸になって、このコロナ禍を乗り越えていきたいと考えておりますので、本年も何卒どうぞよろしくお願いいたします。

横浜市港北消防署とともに症例検討会を開催しました

地域へと還元できるよう、今後さらに緊密な消防・医療機関の連携を図ってまいります。

救命救急センター　救急科部長　中村俊介



円滑な救急医療の展開は、病院がセーフティーネットとして地域を支える医療を進めるための必須な活動となります。かねてより当院では、横浜市港北消防署を中心に横浜市北部の消防署と連携を深め、互いの知識、技量を高めるために症例検討会を行っており、本年も 11 月 25 日に当院の講義室において開催しました。

検討会は、横浜市港北消防署より吉田消防署長、横浜労災病院より梅村院長の挨拶で始まり、救急災害医療部 中森部長による教育講演 1「ダイヤモンドプリンセス号船内医療活動初動時の紹介」の後に、「新型コロナ流行期における救急医療の提供」をテーマに症例について発表、質疑応答が行われ、最後に小児科 菊池部長による教育講演 2「小児救急と児童虐待」が行われました。教育講演 1 では、本年 2 月に横浜港に停泊した客船における新型コロナウイルス感染のクラスターについて、船内での医療活動を指揮した中森部長が講演し、外国籍の客船という特殊な環境下で、さらに当時は詳細な情報のなかった感染症のクラスターに対する初動時の問題などを時系列で紹介しました。また、その中で搬送活動に協力いただいた横浜市消防局に対する謝辞が述べられました。

症例発表では、呼吸困難感を訴える傷病者に対する救急隊の活動、院内での診療について各々報告の後に議論し、さらに院外心肺停止症例に対する対応、社会的に不利な状況にある傷病者への対応について、新型コロナ流行期という状況下での病院前活動・院内医療の問題について、検討が行われました。

新型コロナウイルス感染症の流行に際して、自宅で過ごす時間が長くなり、家庭内での暴力が問題となっている中、児童虐待の問題は重要であり、教育講演 2 において菊池部長より児童虐待の総論、事例を提示しての各論を教授されたことで、救急隊員、医師ともに知識を深めることとなりました。新型コロナが流行する状況にあるため、いわゆる三密（密閉・密集・密接）を避けるように参加者の席の配置や講義室の換気など環境に配慮し、また当院の医療スタッフは映像が配信されたカンファランス室で参加するなど、これまでの症例検討会と異なる形での実施となりました。一方で、これまでと同様に教育講演で知識を習得し、症例検討による問題の共有、検討が行われ、質の高い救急医療の提供につながる有益な検討会となりました。これらの成果を地域へと還元できるよう、今後さらに緊密な消防・医療機関の連携を図りたいと考えています。

横浜労災病院　横浜市港北区小机町 3211　TEL　045-474-8111